

安全は、
フィットから



プロの現場に、プロの保護を。
フィットテストで、従業員に最高の呼吸保護環境を。

『着けているだけ』はもう卒業！ 今こそ『正しく着ける』安全衛生へ！

その保護具、正しく使えていますか？

有害物質から身を守るはずの保護具も、間違った選び方や装着では効果を失い、働く方を危険に晒します。私たちは「正しい保護具の選択と装着」の重要性を伝えるため、体を張って実験し、動画にまとめました。ぜひ一度ご視聴ください！



防じんマスクを
使わなかったら!?



防じんマスクが
フィットして
いなかったら!?



フィットテストを
試してみたら!?

フィットテストとは

フィットテストは、マスクの面体が装着者の顔に適切に密着（フィット）し、保護性能が最大限に発揮されていることを確認（テスト）することです。

正しくフィットするマスクを選定することで、作業者の健康を守るができます。



対象の保護具

フィットテストの対象は、面体をもつ呼吸用保護具です。顔に密着しないルーズフィット型の呼吸用保護具は対象外です。



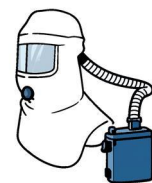
使い捨て式



取り換え式
(半面形)



取り換え式
(全面形)



ルーズフィット形
呼吸用インターフェース

テストの方法

当会では**定量的フィットテスト**を採用しています。

計測機器（右画像）と現場で使用するマスクを接続し、マスクを装着した状態でJISに規定された7つの動作を行います。

動作と動作時間を省略した「**短縮定量的フィットテスト**」にも対応しています。



必要なもの

接続ジョイント（アダプター）

取り替え式マスクの場合は、測定機器とマスクをチューブで接続するための**接続ジョイント（アダプター）**をお客様にご準備いただきます。接続ジョイントはメーカー、型式によって異なりますので、マスクメーカーにお問い合わせのうえ、事前の取り寄せをお願いします。

※使い捨て式マスクの場合は当会で準備いたします。

会議室等の実施場所

室内に粒子発生器で無害な微粒子（塩化ナトリウムを微量に含む水のみスト）を漂わせてテストを実施します。部屋が広すぎると空気中の微粒子の濃度が安定しないため、**12畳程度の会議室等**が望ましいとされています。

テストに要する時間

JIS T8150では基本動作などのテスト方法が規定されており、**スムーズに進行すれば所要時間は10分程度**で終了します。（不合格となった場合、その原因を検討するために30分程度かかることがあります。）

評価方法

フィットテストの結果、「**フィットファクタ**」が「**要求フィットファクタ**」以上になれば、フィット良好（合格）と判断されます。



$$\text{フィットファクタ} = \frac{\text{マスクの**外側**の濃度}}{\text{マスクの**内側**の濃度}}$$

要求フィットファクタ

全面形面体 … 500
半面形面体 … 100

不合格の場合、マスクの損傷や劣化・着用方法・フィットテスト方法等の再確認を実施し、それでも改善しない場合はマスクの変更を検討します。

一般財団法人京都工場保健会 環境保健部

<https://kankyosokutei.jp/>

TEL : **075-823-0528**



お問合せは
こちら

お気軽にご連絡ください